

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	生ごみ処理機器購入費補助事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)	
部等名	水道環境部	課等名	環境課		包含する細々目	1	4	2	1	10	3		
政策	5人の営みと自然・環境が調和したまちづくり												
施策	56 廃棄物の減量と適正処理												
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議		不要							
		事業期間	11	年度～	年度	関連計画 条列等						飯田市生ごみ処理機器購入費補助金交付要綱	

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	・飯田市の一般家庭	飯田市の世帯数	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度以前に終了は終了年度とする	
			37395	38000		
			現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		
目的の記述	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
	・家庭から出される生ごみを堆肥化することにより、家庭で利用できるよう再資源化する。或いは処理機器で減量化して市の収集に排出する。	生ごみ処理機器購入申請件数累計	18目標	6084	最終目標	6834
			18実績	6005	19目標	6584
			23目標	6834	23実績	
			18目標	15.7	最終目標	
			18実績	15.5	19目標	
		23目標		23実績		

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	家庭から出る生ごみを、市民自らが堆肥化その他減量対策をすることを促進し、それによりごみの減量と市民意識の高揚を図るため、補助金交付要綱に従い(購入金額の半額補助、補助金の上限2万円)、市民からの申請を受け付け、補助金を交付する。	<ul style="list-style-type: none"> 生ごみ処理機器の普及啓発を行う。 補助金交付要綱(購入金額の半額補助、補助金の上限2万円)に従い、補助金を交付する。 市民向けに補助制度について広報をする。 生ごみ処理機器から出された堆肥の家庭での利用方法等について、広く啓発活動を行う。 広報方法の見直し 地区別補助申請割合などの資料を分析してごみ処理機器の効果を検証する。 	補助件数	250
		<ul style="list-style-type: none"> 生ごみ処理機器の普及啓発を行う。 補助金交付要綱(購入金額の半額補助、補助金の上限2万円)に従い、補助金を交付する。 市民向けに補助制度について広報をする。 生ごみ処理機器から出された堆肥の家庭での利用方法等について、広く啓発活動を行う。 広報方法の見直し 地区別補助申請割合などの資料を分析してごみ処理機器の効果を検証する。 	補助件数	250

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他	4,034	4,034
一般財源			
事業費計(A)	4,034	4,034	
人件費	正規職員所要時間	18年度 520	19年度 520
	臨時職員等所要時間	260	260
	人件費計(B)	2,139	2,139
	トータルコストA+B	6,173	6,173

特定財源内訳や補足事項	その他(ごみ手数料)
-------------	------------

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	・ごみ減量のための3Rの推進(桐林クリーンセンターに搬入される「燃やすごみ」の搬入量が減量されるとともに、生ごみが各家庭での生ごみ堆肥化(自家処理)されることにより、再資源化されて利用される)	桐林クリーンセンターに搬入される生ごみ量(飯田市のごみ収集量)対前年度比率(%)	現状値	97	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

<p>この事業を開始したきっかけ</p> <p>平成11年12月、ごみ処理費用負担制度の開始に伴い、この財源を活用し、生ごみ減量施策として制度化した。</p>	<p>事業を取り巻く状況の変化</p> <p>・新桐林クリーンセンターの1日の処理量が93トンに縮小されたことから、「燃やすごみ」の減量が必要であり、高温焼却する上で水分を含む生ごみの減量を特に求められている。平成14年11月から旧市一部地域で家庭生ごみの分別回収を開始し、16年8月からは、下久堅の「飯田市堆肥センター」に搬入している。 ・平成16年度から、家庭生ごみ収集区域は補助対象区域外とし、全体として、1世帯1回限りの補助とした。</p>	<p>事業に対する市民や議会の意見</p> <p>・市民から、補助金制度に関する電話問い合わせや申請手続きをする中で、補助金制度があることが、生ごみ処理機器購入の動機づけになったとの声を聞く。</p>
--	--	---

【See】18年度の振り返り

<p>目的妥当性評価</p>	<p>この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？</p>	<p>(評価) 結びつく (その理由)</p> <p>生ごみを分別させ、燃やすごみとして収集しないことにより、燃やすごみを減量でき、桐林クリーンセンターにおける可燃物の水分率を下げることになる。</p>	<p>成果をさらに向上させる余地はありますか？</p>	<p>(評価) 余地がある (その理由)</p> <p>市広報、マスコミに積極的に広報することによって、生ごみ処理機器の普及を図る。</p>
	<p>対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？</p>	<p>(評価) 必要性がない (その理由)</p> <p>一世帯一回限りの補助であり、補助金額は適正である。</p>	<p>有効性評価</p> <p>廃止・休止した場合の影響はありますか？</p>	<p>(評価) 影響あり (その理由)</p> <p>生ごみの減量化、堆肥化ができない。普及率が飯田市全体の15.5%であり、廃止した場合、これから購入を検討している世帯に対して不公平である。</p>
	<p>意図の見直しの必要性はありますか？</p>	<p>(評価) 必要性がない (その理由)</p> <p>ごみ減量は重要であり、特に「燃やすごみ」の減量は、桐林クリーンセンターを共有する広域連合で取組ことが合意されている。</p>	<p>他に類似事業はありますか？また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？</p>	<p>(評価) 類似事業なし (類似事業名、理由)</p> <p>飯田市民を対象にした類似事業なし</p>
	<p>市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)</p>	<p>(評価) 必要ある (その理由)</p> <p>ごみ排出量は処理費用に繋がり、行政として関与する必要がある。生ごみ処理機器の利用は、ごみ減量手段であり、ごみ有料化財源の還元策とした経緯がある。</p>	<p>効率性評価</p> <p>成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？</p>	<p>(評価) 不可能 (その理由)</p> <p>生ごみ処理機器の購入補助に関する問い合わせと申請後の審査と支払い事務に関する最低限人件費であり、削減は不可能</p>
			<p>公平性評価</p> <p>受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？</p>	<p>(評価) 妥当である (受益者とその理由)</p> <p>補助申請者。他市町村の補助額をみても妥当である。</p>

【Plan】改革改善

<p>今後の事業の方向性</p> <p><input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>実施年度 → 具体化</p>	<p>何を、いつまでにどうするのかの改革改善案</p> <p>・生ごみ処理機器の普及啓発を行った。 ・平成16年度から、家庭生ごみ収集区域は補助対象区域外とし、全体として、1世帯1回限りの補助とした。</p> <p>上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法</p> <p>・購入後の利用実態の把握。</p>
---	--

【補足事項環境側面】

<p>(1) 環境影響評価の必要性判断</p>	<p>(2) 必要性な場合の実施事由</p>
<p>(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？</p>	

【指摘事項】

<p>施策マネジメント会議</p>	
<p>施策評価会議</p>	
<p>第5次基本構想基本計画推進委員会</p>	